

会 議 記 録

次のとおり会議記録を公表します。

会議名	第1回瀬戸・高松広域連携中枢都市圏推進委員会
開催日時	平成27年8月14日(金) 午前10時30分～午前11時25分
開催場所	高松市役所 3階32会議室
議 題	(1) 委員会規約(案)について (2) 会長・副会長の選任について (3) 「瀬戸・高松広域連携中枢都市圏(仮称)」の概要等について (4) 「瀬戸・高松広域連携中枢都市圏(仮称)」での取組について (5) その他
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上記理由	
出席委員	会長 大西秀人、副会長 岡下勝彦、大山茂樹委員、多田康宏委員、松岡みどり、田中貞男委員、三枝邦彦委員、岡本経治、松尾俊男、森口久士委員、筒井敏行委員、香西茂知委員、濱中満委員、蓬清二委員、藤井賢委員、鈴木義明委員
傍聴者	1人 (定員若干名)
担当課および連絡先	政策課 (839-2135)

会議経過及び会議結果

会議を開会し、次の議題について協議し、下記の結果となった。

(1) 委員会規約(案)について

全会一致により承認された。

(2) 会長・副会長について

瀬戸・高松広域連携中枢都市圏推進委員会規約第5条第2項の規定により、連携中枢都市の市長の職にある者が会長となり、副会長は会長が指名した。

会 長 大西秀人、副会長 岡下勝彦

(3) 「瀬戸・高松広域連携中枢都市圏(仮称)」の概要等について

事務局から説明し、委員からの意見はなかった。

(4) 「瀬戸・高松広域連携中枢都市圏(仮称)」での取組について

事務局から説明し、次のとおり、意見があった。

(委員)

説明にあった連携中枢都市宣言について、内容はこれでよいと思う。ただ、1点だけ申し上げたいのは「高次の都市機能の集積・強化に積極的に取り組む」という文言によって、高松市以外の2市5町の

会議経過および会議結果

住民が、これまで以上に高松市に何もかもが一極集中して、自分たちの地域が取り残されてしまうのではないかと誤解をする可能性があるということである。都市機能の集積・強化は、宣言案にあるとおり、「圏域の住民の皆様が、笑顔あふれるものとなる」ために行うのだということを中心都市はもちろん、連携市町においても十分意識しておかなければならない。共通認識を持って、目的を明確にしながら、誤解を生まないように取り組んでいく必要がある。

(会長)

これからの人口減少という厳しい環境の中で、連携中枢都市圏構想へと発展的に移行し、圏域全体をいかに活性化させていくかという時に、中心都市である高松市が、これまで以上に牽引役としての役割を果たさなければならないということで「連携中枢都市宣言」を行わせていただくわけであるが、今、御意見をいただいたようなことを一番懸念しており、御理解をいただけるようにしなければならないと思っている。

高松市が牽引役として役割を果たし、活性化を目指していくことによって、連携市町の全体が少しでも良くなるように、常に意識をしながら丁寧に取り組んでいきたい。また、それぞれの市町においても、御意見等があれば、積極的に出していただきたいと思っている。

(委員)

高松市及び周辺市町とも連携をしながら、公共交通機関の維持・発展を進めていきたいと考えているところであり、今後とも協力をお願いしたい。

(会長)

高松が牽引役を果たし、その良い影響を各地域に及ぼすためにも、公共交通の充実やアクセスの充実というのは非常に大事であると思っている。連携市町と協力して取組を進めていきたい。

(5)その他

事務局が今後のスケジュールについて事務局から説明、委員からの意見はなく、以上をもって本日の会議を終了することとした。